

- 各国がSDGsの進捗状況に関する自主的報告を行う国家主導の定期的レビュー。SDGs実施における様々な経験を共有し、進捗を確認し推進する場としてプロセスの中心に位置づけられており、持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラム(HLPF)で発表。
- 日本は2017年に第1回発表(岸田外務大臣(当時):対面)、2021年に第2回発表(茂木外務大臣(当時):ビデオメッセージ)を実施。**2025年に第3回発表(対面【P】)を行う予定。**

※ 2017年岸田外務大臣(当時)の国連ハイレベル政治フォーラム(HLPF)出席の際の主な対応

- ①HLPF自発的国家レビュー(VNR)セッションにおけるプレゼンテーション
- ②岸田外務大臣による日本政府・関係国政府・UNDP共催サイドイベント
- ③岸田外務大臣による日本政府主催レセプション

(参考)SDGs実施指針(令和5(2023)年12月改定)

2025年を目途に自発的国家レビュー(VNR)を実施する。その際、我が国が推進するSDGsのあり方について国際的に発信し、国際社会全体の持続可能性の確保に向けた取組を主導する。また、我が国のSDGsの進捗状況についてレビューしつつ、特に各目標に共通する横串の諸課題について、SDGsは全体として一体で不可分という観点から、必要に応じて、分野別のレビューを行う。

その際、科学的エビデンスに基づくSDGsの進捗管理及び達成に向けた取組を進めていくこと、かかる取組を国際社会全体のSDGs達成に向けた取組に有機的に統合すること及び国際社会において主導権を発揮していくことを十分に踏まえる。以上の取組を通じて、2030年以降も見据えた国際的な議論も主導していく。

また、地方自治体との連携を強化し、自発的ローカルレビュー(VLR)の積極的な実施を後押しする。



# 自発的国家レビュー(VNR) 構成案

## 2025年版VNRの構成(案)

1. 巻頭メッセージ(総理メッセージを想定)
  2. 報告書の要約
  3. 報告書作成方法
  4. SDGs達成に向けた我が国のビジョンと取組の評価
    - (1) ビジョン
    - (2) SDGs推進体制・国内普及の動き
    - (3) 5つの重点事項と主な取組
  5. 各目標の達成状況
  6. 各ステークホルダーの取組と評価
  7. 今後の方向性
- <コラム>  
<別添>SDGグローバル指標等

## (参考)2017年版VNRの構成

1. 要約
2. イントロダクション
3. 報告書の準備
4. 政策措置及び可能にする環境
  - (1)組織メカニズム
  - (2)国家枠組みへのSDGsの組入れ
  - (3)2030アジェンダの原則の主流化
  - (4)SDGsのオーナーシップ醸成
  - (5)SDGsに関連する優先課題の概況及び好事例
5. 次のステップ



## (参考)2021年版VNRの構成

1. 巻頭メッセージ(総理から)
  2. 要約
  3. 報告書作成方法
  4. SDGs達成に向けたビジョン
  5. 国内のSDGs推進体制・主な取組
    - (1)SDGs推進に向けた国内体制
    - (2)国内普及の動き
    - (3)8つの優先課題と主な取組
  6. 各目標の達成状況
    - (1)政府による進捗評価
    - (2)円卓会議民間構成員による進捗評価
  7. 今後の進め方
- <別添>SDGグローバル指標



# 自発的国⽴レビュウ(VNR) スケジュール

時期	国連等	政府	有識者・円卓会議
25年1月		VNR骨子完成	
2月	APFSD	各省協議	円卓会議との 緊密な意思疎通
3月～4月		パブリックコメント実施	
5月		SDGs推進本部 VNR決定	
6月	VNRレポートの提出		
7月中旬	HLPFにおけるVNRの発表		